「GIGAスクール構想加速化基金管理運営要領」に基づく

公立学校情報機器整備事業に係る各種計画

【箕面市】

端末整備・更新計画

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
① 児童生徒数	12,613	12,574	12,436	12,591	11,869
② 予備機を含む 整備上限台数	5,262	0	9,340	0	0
③ 整備台数 (予備機除く)	4,576	0	8,122	0	0
④ ③のうち 基金事業によるもの	4,576	0	8,122	0	0
⑤ 累積更新率	36%	36%	100%	100%	100%
⑥ 予備機整備台数	686	0	1,218	0	0
⑦ ⑥のうち 基金事業によるもの	686	0	1,218	0	0
⑧ 予備機整備率	14%	0%	14%	0%	0%

(端末の整備・更新の考え方)

○端末の整備について

- ・平成30年度更新端末(4,576台)…令和6年度更新
- ・令和2年度更新端末(8,122台)…令和8年度更新

○更新後の現行端末の活用方法…使用できる端末約2000台を残す予定

- ・児童生徒や校長・教頭・指導者用端末が故障した時の修理中の代替機として活用する。また、児童数、教職員増加に伴って予備機が不足したときの代替機として活用する。
- ・児童生徒が端末を忘れたときの貸出機として使用する。
- ・オンライン授業用端末として使用する。

(更新対象端末のリユース、リサイクル、処分について)

○対象台数：10,698台

○処分方法

- ・小型家電リサイクル法の認定事業者にて再使用・再資源化を委託：(10,698台)

○端末のデータの消去方法

- ・処分業者へ委託する

○スケジュール

- ・令和6年度更新端末について
令和7年4月 新規購入端末の使用開始
令和7年6月 処分業者の選定

令和7年8月 使用済み端末の事業者への引き渡し

・令和8年度更新端末について

令和9年4月 新規購入端末の使用開始

令和9年6月 処分業者の選定

令和9年8月 使用済み端末の事業者への引き渡し

【箕面市】

ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

100％

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

(1) ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

○更新後100％を維持するために

- ・定期的に学校訪問して、ネットワーク速度の測定を行うなど課題特定に努める。

(2) ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

○更新後100％を維持するために

- ・課題を特定した場合は、ネットワーク保守業者と協力して速やかに改善を図る。

【箕面市】

校務DX計画

- ・ tomoLinksの機能の一つである連絡帳を活用し、児童生徒の欠席・遅刻・早退の連絡について、保護者とのやり取りができるようにしている。また学校からの配布物を tomoLinksの機能を用いて電子媒体で配布している。
- ・ 校務のデジタル化について、公簿の押印を省略できるものを整理し、電子化をすすめている。また、出席簿を電子化することで教職員の業務負担軽減をすすめる。
- ・ 教職員端末に統合型支援システムを導入し、学習用端末からセキュリティを担保したまま、校務ネットワークにもアクセスできるようにし、校務の効率化を図っている。

校務DXに係る当面のKPIについて			
項目	KPI	取り組み内容	目標値
1人1台端末の整備	1人1台端末を常時活用できるよう、十分な予備機を整備している学校の率	学校への端末配備数や故障端末、予備端末の状況を把握して、不足なく常時活用できるようにしていく。	100% (R7)
ネットワークの改善	必要なネットワーク速度を確保済みの学校の率	定期的に学校訪問をして、ネットワーク速度の測定を行う。	100% (R7)
校務のデジタル化	FAXでのやり取り・押印を廃止した学校の率	<ul style="list-style-type: none">・ FAXでやり取りしているものについて学校に調査をして、電子化できるものは電子化していく。・ 押印が必要な書類を廃止していく。	100% (R7)

【箕面市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

- ・授業中わからないことや気になったことがあれば、すぐに端末を使って調べることができる。
- ・実験や観察の授業で、動画や写真撮影機能を使って記録することができる。
- ・自分や友だちの考えを電子媒体のワークシートにまとめることができる。
- ・プレゼンソフトを利用して発表資料を作成し、発表することができる。
- ・授業支援システムを利用して、自分の考えや友だちの考えを共有したり、友だちの意見に対して意見をしたりするなど、自分の考えを深める。
- ・家庭学習ですすんでデジタル教材に取り組む。取り組みの中で、ICTを活用しながら課題解決する力を身につける。

2. GIGA第1期の総括

- ・令和2年度に市内児童生徒全員にタブレット端末を配備。
- ・オンライン授業用端末の配備とオンライン学習用ネットワーク環境を整備し、対面授業とオンライン授業を両立して実施している。
- ・デジタル連絡帳機能、デジタルドリル等が搭載された総合学習支援ソフトtomoLinksを導入した。
- ・教職員用端末を更新し、統合型校務支援システムを導入した。

●成果

- ・教職員の端末の活用率が向上し、業務改善につながった。
- ・家庭学習にてタブレット端末の活用率が増加し、学習効果が向上した。
- ・tomoLinksの連絡帳機能を使い、保護者と効率よく情報共有ができるようになった。
- ・不登校児童や学校休業時の学習保障を行うことができた。

●課題

- ・ICT機器を利用することが苦手な教員への支援が不足している。
- ・今以上にICT機器をより効果的に活用した授業を目指す必要がある。

3. 1人1台端末の利活用方策

- ・箕面市版情報活用能力系統表を作成し、子どもたちの情報活用能力の育成を図る。
- ・学習支援ソフトを用いた協働学習の活用方法について、具体例を示しながら共有する。
- ・情報教育部会を定期的を開催し、ICT機器について、教職員や児童生徒がより使いやすいものになるよう開発者と協議していく。
- ・ICT支援員と連携し教職員の困りごとに対応したり、ICTを活用することにより効率よく仕事ができることについて共有したりする。また支援員を中心とした校内ICT研修を実施。端末を活用することで効率よく学習できることやより学習が深まることについて、具体例を示しながら共有する。
- ・デジタル教材（タブレットドリル）の機能を向上させることで、個別最適な学びの充実を図る。
- ・引き続きオンライン授業を行うことで、学校休業等や不登校児童生徒の学習を保障する。
- ・こころの天気、教育相談機能を活用し、児童生徒の日々の実態を把握する。

教育DXに係る当面のKPIについて			
項目	KPI	取り組み内容	目標値
1人1台端末の積極的活用について	校内でICT研修を実施している学校の率	・校内の情報教育部会を中心に、ICT支援員と協力して、校内ICT教育研修会を実施する。	100% (R7)
	1人1台教職員端末を週3回以上活用する学校の率	・情報教育部会で活用事例の共有を行う。また現場からの意見を集約し、機能改善を行う。	100% (R7)
	指導書用デジタル教科書の活用率について	・デジタル教科書を使用した実践事例などを共有する。 ・情報教育研究部会等で意見を集約し、使いやすくなるよう改善を行う。	80% (R7)
個別最適・協働的な学びの充実について	児童生徒が授業の中で1人1台端末を週3回使用する学校の率	・端末を利用した調べ学習、記録方法等実践事例を共有する。 ・授業支援ソフトを活用し、個別最適・協働的な学びにつながる授業を目指す。	50% (R7) 60% (R8) 70% (R9) 80% (R10)

	児童生徒が家庭において1人1台端末を週3回以上使用する学校の率	<ul style="list-style-type: none"> デジタルドリルの活用を促進する。 連絡帳機能を活用する。 	50% (R7) 60% (R8) 70% (R9) 80% (R10)
	端末を活用した教育相談を行っている学校の率	<ul style="list-style-type: none"> tomoLinksの「こころの天気」の機能を活用する。 	100% (R7)
	不登校児童生徒への端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校の率	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒が、いつでもオンライン授業ができる、環境を整える。 	100% (R7)
	学級休業や学校休業時、オンライン授業を行っている学校の率	<ul style="list-style-type: none"> 学級、学校休業時にオンライン授業ができる環境を整える。 	100% (R7)
	外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に端末を活用している学校の率	<ul style="list-style-type: none"> 予備端末を用意し、必要に応じて活用できるようにする。 	80% (R7) 100% (R8)
	障害のある児童生徒や病気療養時等、特別な支援を要する児童生徒などに応じて端末を活用した支援を実施している学校の率	<ul style="list-style-type: none"> 予備端末を用意し、必要に応じて活用できるようにする。 	80% (R7) 100% (R8)